

京都市会だより

特集 号

平成15年
(2003年)
7月15日発行

発行/京都市会
編集/市会事務局
〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る
TEL.075(222)3700
FAX.075(222)3713

本号は保存版として活用してください。



新市会の発足にあたって



京都市会議長
田中セツ子

景気の低迷が長く、中々、京都市は極めて厳しい財政状況の下、急速に進む少子高齢化に対応した子育て支援や高齢者福祉の充実、地球環境問題が深刻化する中で、資源循環型社会の構築など数多くの重要な課題に直面しております。



京都市副議長
谷口弘昌

京都市会におきましても、地方分権の進展と共に、市民の期待と信頼にこたえ、新しい時代にあつた京都市政の実現に向け、議会の機能をより一層発揮することが求められております。

私たちは、五月市会定例会で、第七十一代の市会議長並びに第七十八代の市会副議長に選出されました。

新市会によせて



京都市長
桒野親兼

あると同時に、「安らぎ 華やき 京都21推進プラン」の折り返しの年であり、市民の皆様にお約束したことを確実に実行する大切な節目の年でもあります。

新市会の発足を衷心よりお慶び申し上げます。

今日、我が国は、少子高齢化の急速な進行、地球環境問題の深刻化など、まさに文明史的な転換期の渦中にあります。こうした新しい時代に積極的に対応していくためには、市民の皆様とのパートナーシップを基礎として、市会と行政の連携をより一層強固にするこ

とが極めて大切であります。

また、本市におきましては、極めてひびいた財政状況にございますが、事業の選択と財源の集中への更なる徹底や聖域なき行政改革の断行など、あらゆる財源対策を講じ、福祉、教育を重点政策に位置付け、市民の皆様生活を守り、将来の京都の発展に向けた礎を築くため、私を先頭に全職員が一丸となつて取り組んでまいります。

もとより、市会と行政は車の両輪であります。市民の皆様期待にこたえるため、市会議員の先生方と議論を深め、地方分権時代にふさわしい魅力と活力あふれるまちづくりをまい進して参ります。